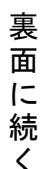


道の駅ふたつい整備事業基本計画案を報告

3つの基本機能（休憩・地域連携・情報発信）に防災機能を追加

一 現在の道の駅ふたつは、
 改築事業でインターチェンジ
 などの用地となるため、移転
 に、移転整備の基本的な考え
 方を取りまとめた基本構想を
 策定し、移転先についての国道
 7号を挟んだふたつの側地等を
 移転候補地としました。
 ため、転整備を速やかに進める
 ため、運営計画のほか、国土交
 通省との一体型整備の手法や

基本機能の休憩施設は、駐車場・休憩所・トイレを整備し、地域連携施設は、地元産の食材を活用したレストラン・軽食コーナー、農産物直売所等の物産等販売や地域住民や道路利用者との交流の場としても活用できる加工（体験）施設、現在の道の駅ふたつから機能移転するサイクルステーションが整備されます。また、情報発信施設として、道路管理者である国土交通省による道路交通情報のほか、二ツ井地域でのイベントなどを発信し、中心商店街への誘導を図ることも目的とした情報コーナーや、二ツ井町歴史資料館の機能を移転するとともに、きみまち阪などの観光施設やきみまち恋文全国コンテストなどを紹介するための歴史・民俗資料コーナーも整備されます。



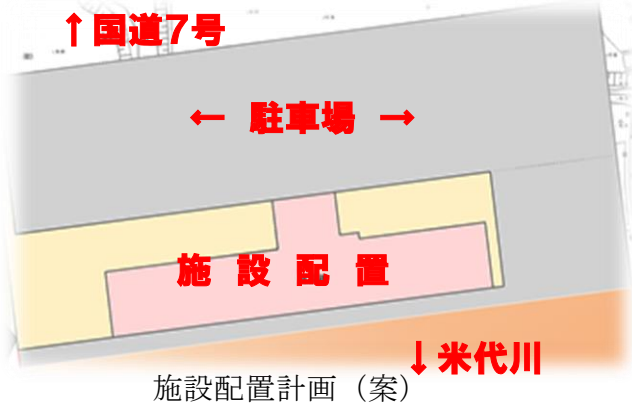
国道 7 号を挟んだ、道の駅ふたついの移転整備位置

H27. 3. 25発行

施設配置は米代川側に一直線

防災拠点施設として防災機能を導入することとしているが、道の駅としての防災機能については、国土交通省により別施設として整備される予定となつていることが報告されました。

施設配置計画については、道の駅ふたついい整備検討委員会で、米代川側に一直線の配置とされました。



（質疑）規模はどれくらいなのか。

(答弁) 駐車台数は小型車で115台、大型車23台、身障者用3台を確保し、西目や岩城と同じくらい、面積だと鷹巣よりも少し小さいくらいとなっている。

（質疑）ドッグラ、結婚式
が出来る機能はないか。
（答弁）ドッグラは、道の
駅施設よりも川側の多目的広
場での整備を想定している。
結婚式機能については、整備
検討委員会でも意見はなかつ
た。

（質疑）商品づくりは（答弁）6次化も含めアドバイザーの活用と、仮称運営検討委員会で協議していく。



（質疑）道の駅ふたつの特色は何か。

（答弁）情報発信機能施設の中に、歴史・民俗資料コーナーを整備し、二ツ井地域の歴史・文化の紹介やきままち恋文全国コンテストの紹介など、他の地域には無い機能の整備も行うこととしている。

（質疑）小さい子ども遊び場が少なく、ぼんぼ山や北欧の杜とかに行っているのでは非、整備してほしい。

（答弁）多目的広場は、バーベキュー広場等の整備を想定し、屋内遊具コーナーには小型の遊具を設置し、全天候対応型とする。



（質疑）女性目線での検討が重要と思う。ただの箱物ではなく、利用しやすい、斜め駐車だとか広めの駐車場であるとか、物販についても女性目線での検討が望まれる。

（答弁）運営検討委員会は、女性を多く登用したいと考えています。なお、現在の産直運営の外部アドバイザーは女性を活用している。

地域自治区の今後について、先進事例を自主研修

平成28年3月31日、期限となる、地域自治区の今後について、地域協議会としての意見を集約するため、二つの先進事例を研修しました。延長を決定した青森市、浪岡自治区の例、もう一つは、延長はしないで、新しいまちづくりの組織設置を検討している盛岡市、玉山区の例。

どちらの場合も、地域協議会としての意見書を市に提出しており、二ツ井地域協議会としての、今後の意思表示の参考としました。